

豊川市立金屋小学校で防災講座を行いました

令和5年10月14日（土）、豊川市立金屋小学校で5.6年生約110名とその保護者に防災講座を行いました。学校では、前日の13日から防災キャンプが行われており、その一環で実施しました。

講座では、伊勢湾台風や昭和28年9月洪水（台風13号）など過去に発生した風水害について説明をした後、児童は映像で、保護者はVRで浸水を疑似体験し、水害の恐ろしさや早期避難の重要性を学んで頂きました。また、線状降水帯によりこの地域に被害をもたらした「6月の梅雨前線及び台風第2号による大雨」では、学校のすぐ横を流れる佐奈川が堤防すれすれまで増水したそうで、「線状降水帯について知っていますか」と質問したところ、多くの児童が手を挙げていました。

ペットボトルを用いて竜巻や雲などを発生させる気象に関する実験では、親子や友人同士で仕組みなどを話しながら楽しんで学びました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、水害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。

講座の様子は、中日新聞・東愛知新聞に取材頂きました。

